

# 週報

Rotary  
福岡中央  
ロータリークラブ

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



世界に希望を生み出そう

「CREATE HOPE in the WORLD」

2023-2024年度 国際ロータリー会長  
R.Gordon R.McInally

「ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう」

国際ロータリー第2700地区

2023-2024年度 ガバナー 吉田 知弘

「再び動かす我らの歴史」

2023-2024年度 福岡中央ロータリークラブ

会長 怡土 順治 幹事 泥谷 高博

本日の例会 令和5年12月4日（第2053回）VOL.47 No.18

卓話

「次世代のリーダーをつくる」

九州・アジア経営塾 事務局長 飯田 剛さん

疾病予防と治療月間

今後の  
例会予定

- ・12月11日(月) 忘年家族懇親夜間例会（18:00～ 西鉄グランドホテル）
- ・12月18日(月) 卓話 新会員自己紹介（堤 春比古会員）
- ・12月25日(月) 休会

「京都 東福寺」



鎌倉時代、奈良の東大寺と興福寺から名をとって建立された東福寺は、室町時代には京都五山に列せられる禅寺として栄えました。赤や黄色に染まる紅葉がいっぱいの景色は圧巻です。

藤原康弘

例会日…毎週月曜日 12:30～13:30 例会場・事務局…西鉄グランドホテル

TEL 714-0305 FAX 714-0311 E-mail fukuoka-chuo-rc@wind.ocn.ne.jp HP <http://www.fukuoka-chuo-rc.jp>

# 前週例会の記録(11月27日)

## 出席報告

前回例会 11月27日		前々回例会 11月13日	
会員数	52名	会員数	52名
出席会員	42名	出席会員	39名
ビジター他	11名	修正	4名
合計	53名	免除	2名
出席率	80.77%	修正後出席率	86.00%

-来訪者内訳-

台北市忠孝RCより

PP.YOUNG・JL・FRANK・TOM・KARL.K

謝・AKAI・DC・JONATHAN

福岡RC2名 計 11名

## ロータリーソング

藤原 康弘 ロータリーソング委員

・四つのテスト ・手に手つないで

## 会長の時間

怡土 順治会長

忠孝ロータリークラブの皆様、本日は当クラブの例会に久しぶりにご出席くださり本当にありがとうございます。2017年5月29日(月)に当クラブの創立40周年記念式典にご出席いただいて以来ですから約6年半ぶりでしょうか。忠孝RCと当クラブの交流の歴史についてはこの後、薄さんがお話くださると思いますので今月はロータリー財団月間ですので、本日はロータリー財団の話をしたいと思ひます。

まずは歴史ですが1917年、アーチ・C・フランクR会長が「世界でよいことをするために」と基金の設置を提案します。この基金が1928年に「ロータリー財団」と名付けられて国際ロータリー内の組織となり、現在のロータリー財団となっています。正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」になります。現在、国際ロータリーの純資産は2022年6月末で1億592万ドル、一方、子会社的な位置づけになるロータリー財団の純資産は12億5,557万ドルです。約100年前に産声をあげた財団の最初の寄付は26.5ドルでしたから、ものすごい成長を遂げたこととなります。そしてこれが世界に広がり財団の8番目の協力財団として誕生したのが公益財団法人ロータリー日本財団になります。我々はこの財団を通じてロータリー財団に寄付をしています。クラブ寄付といってクラブとして寄付しているもの(第3期会費、ドルランチと新会員寄付を財源としています)と、個人寄付といって個人が任意で寄付しているものにわかれます。寄付って何に使われているの?となるかと思ひますが、大きく分けると3つあります。

1つ目がポリオプラス・プログラム(第3期の会費1人2,500円でいただいています)です。こちらのス

タートは1985年ですから今から約40年前ですね。今までに約20億人以上の子供にポリオ接種をしてきています。ポリオは別名急性灰白(かいはい)髄炎、脊髄性小児麻痺と呼ばれ小さな子供がかかることの多い病気で、麻痺が現れると回復せずに一生残ってしまうことも多い病気です。ワクチンを接種することで十分な抗体が得られ、日本でも定期接種を行っています。治療法がないためワクチン接種による予防が重要です。ポリオプラスは、ワクチンのない開発途上国にこのワクチンを送っている事業になります。ポリオワクチンは約20円。費用も入れると1人を救うのに約450円必要です。ただこのワクチンは熱に弱いので、工場出荷後から開発途上国の現場で接種するまでに温度管理を徹底しなければならず、届けるまでにはそれ以外の多額のコストがかかります。現在アフガニスタン(人口3890万人、国土面積日本の約1.7倍)、パキスタン(人口2億4149万人、国土面積日本の約2倍)の2か国がポリオ常在国になっていますが、やはり国土が広く物理的にカバーするのが困難、対象人口が多く巨額の財源が必要、一部で西洋文化に対する激しい反感がある等の理由でなかなか根絶できていません。特に今期はロータリー全体でポリオ根絶に力を入れています。2つ目が年次基金寄付(ドルランチ1人5,000円と新会員寄付でいただいています)と呼ばれるもので50%がロータリー財団(WF)へ、50%が地区財団活動資金(DDF)になります。そのDDFが補助金(DG地区補助金・GGグローバル補助金)として我々が利用できる寄付金です。簡単に説明すると地区補助金は小規模、短期なプログラム。グローバル補助金は大規模(3万ドル以上)長期なプログラムです。当クラブでは地区補助金を、従来は今週末に表彰式が行われるロータリー・ジュニア美術展、今期はジュニアロータリーカップバレーボールに利用しています。細かな話をするとう時間がないので割愛しますがご自身で調べていただくと理解が深まると思います。ロータリーの友11月号にもグローバル補助金の事が記載されています。尚、今期限り皆様から第3期会費を頂くときに年次基金寄付として5,000円多くいただくようにしております。ご協力の程よろしくお願ひいたします。そして3つ目がロータリー平和フェローシップというものです。2004年に開設され世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育てる奨学金プログラムです。世界に6つあるロータリー平和センターで学びます。そのうちの1つが日本にあり、国際基督教大学がそれにあたります。ロータリー財団学友として有名な方が元国連難民高等弁務官の緒方貞子さんです。このように、なかなか実感はないですが我々の寄付が見えない誰かを助け幸せにしているのです。今後ともご協力の程お願ひいたします。最後に良いロータリークラブは何かと考えたときに、ただ仲が良かっただけでは良いロータリークラブとは言えないと思います。お互い尊敬し合い、認め合い、励まし合えるクラブが良いロータリークラブだと思います。本日の会長の時間はここまでしたいと思います。